

会員におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今回の地区ニュースは、1『福岡県臨床衛生検査技師会新規入会者・入会予定者研修会』、2『福岡地区新入会員研修会』、3『福岡市公衆衛生功労者表彰（市長表彰）』、4『福岡地区講演会および意見交換会』について皆様にお届けいたします。

1. 2025 年度福岡県臨床衛生検査技師会新規入会者・入会予定者研修会

開催日時：2025 年 8 月 23 日（土）15：00～17：00

場 所：福岡市民病院 2 階講堂

内 容：

- 1) 福岡県臨床衛生検査技師会の概要と新入会員への期待（40 分）
会長 大久保 文彦
- 2) 福岡県臨床衛生検査技師会 学術研究班活動について（20 分）
学術事業部副部長 樋口 雄哉
- 3) 福岡県臨床衛生検査技師会 情報収集について（15 分）
広報・情報管理部長 石川 雄太
- 4) 福岡県臨床衛生検査技師会 各地区紹介と新入会員への期待（4 地区 10 分ずつ）
福岡地区 地区長 稲子 勝秀
北九州地区 地区長 大井 慈文
筑後地区 地区長 野田 哲寛
筑豊地区 地区長 浦園 真司

新たに福岡県臨床衛生検査技師会（福臨技）に加入された会員を対象に研修会を開催いたしました。研修会に参加された 23 名（入会者 47 名：2025 年 7 月時点）の中から、代表で甲斐 皓貴 技師（福岡赤十字病院）、瀬戸口 芽衣 技師（福岡東医療センター）に感想文を書いていただきましたのでご紹介いたします。

甲斐 皓貴 技師（福岡赤十字病院）

研修会なのでかしまった雰囲気なのかと思っていましたが、笑いもあり、あまり緊張せずに話を聞くことができました。

各地区で開かれている定期的な勉強会に積極的に参加していきたいと思いました。研修後、県技師会の HP を見てみるとたくさんの勉強会が開催されていることを初めて知りました。私は現在一般検査に従事しています。配属されてからは半年ほど経過して仕事にも少しずつですが慣れてきました。尿検査以外にも体腔液や関節液など幅広い知識が必要になりますので、自分の見識を広げるためにも認定一般検査の資格に今後挑戦していきたいと思いました。

懇親会では各地区の会員の皆様や関係者の方々と会話することができました。仕事をしていると自分が勤めている病院以外の検査技師との交流があまりありません。タイミングにもよりますが、自施設での採用が自分一人で検査技師の同期の子がいないという人もいらっしゃると思います。福岡県技師会の久保会長をはじめ各地区の地区長の皆様が共通して仰っていたことは人の輪を大事にして欲しいということです。今回のような研修会や各地区で開催されるイベントは他の病院の職場の雰囲気を知れるとともに同年代の人たちとも交流できる場だと思います。実際、私も一抹の不安を抱えての参加でしたが話の合う友達を見つけることができました。特に入社して1年目の方たちは仕事に対する不安をまだ拭えていない人もいます。横のつながりがあればそういったことを共有し自分の仕事に還元することもできます。ぜひ一度参加して欲しいです。

瀬戸口 芽衣 技師（福岡東医療センター）

この度、令和7年8月23日に開催された福岡県臨床衛生検査技師会新規入会者・入会予定者研修会に参加させていただきました。WEBではなく現地開催での研修会であり多くの方が参加されていたため、当日はとても緊張しておりましたがリラックスした状態でお話を聞くことができました。

入会したもののよくわかっていなかった福臨技の活動内容や自分の所属する地区以外の取り組みや勉強会など初めて知ることが多くありました。勉強会の参加の仕方やそれぞれの分野が月のいつ頃に行われているかなど今後の勉強会の参加に役立つことを知ることができました。勉強会や研修会などの学べる機会が多く設けられているので積極的に参加し自身の知識や技術を身につけ業務に活かしていきたいです。

研修会後は懇親会にも参加させていただき、会長を始め役員の方々からもさらにお話を聞くことができました。研修会よりもさらにリラックスした雰囲気でお話することができ、検査技師としての信念や技師同士の繋がり大切さなど教えていただきました。

私は自施設内に臨床検査技師の同期がいないため、今回のこの研修と懇親会に参加して他施設の同期と交流を深めることができ、とても貴重で有意義な時間を過ごすことができました。お互いの現状の話や自身と異なる分野に従事している同期には業務の内容をおしえてもらうなどして刺激を受け、日々の業務により励もうと思えました。

最後にはなりますが、今回福岡県新入会員研修会を開催していただきありがとうございました。

2. 2025年度福岡地区新入会員研修会

開催日時：2025年9月27日（土）13：15～17：00

場所：SAWARAPIA 福岡県立ももち文化センター 特別会議室

内容：

- 1) 福岡県臨床衛生検査技師会の活動について（10分）

大久保 文彦 福臨技会長（九州大学病院）

- 2) 福臨技福岡地区の活動について（10分）

稲子 勝秀 福岡地区長（SRL Advanced Lab. FMA）

《講演》

テーマ：七転び八起き ～失敗は成長の種～（各講演 30 分ずつ）

- 3) 大規模施設技師 越名 優希 技師（国立病院機構 九州医療センター）
- 4) 検査センター 松永 秀幸 技師（株式会社 シー・アール・シー）
- 5) 中規模施設技師 畑田 祐也 技師（済生会二日市病院）

今年度も新たに福岡県技師会に加入された福岡地区の新入会員向けに研修会を開催いたしました。研修会に参加された新入会員の中から、代表で小池 美玖 技師（千鳥橋病院）、庄山 日菜 技師（福岡青洲会病院）に感想文を書いていただきましたのでご紹介いたします。

小池 美玖 技師（千鳥橋病院）

今回、初めて研修会に参加しました。今まで Web 開催での参加しかしていなかったのも新鮮でした。研修会では福岡地区技師会の活動についての説明もあり、詳しいことは知らなかったため、さらに知見を深めることができました。

研修会での講演は、「七転び八起き～失敗は成長の種～」というテーマで三名の講師の方々が話されました。三名の話で共通していたのは、自分たちの失敗談でした。私も失敗の経験は何度もあります。先輩方も新人の頃は失敗をしており、私たちと同じなんだと感じました。そこで先輩方は失敗をしてもそこから学び、成長してほしいと私たちを励ましてくれました。そして分からないことがあればすぐに誰かに聞くように、とも言われました。私は分からないことがあると質問するとき少しためらってしまうため、これからはすぐに先輩に聞くように心がけていき、また同じことを何度も聞くことがないようにメモや復習をこれからも続けていきたいと思えます。

親睦会では福岡の病院や検査センターなどで勤めている先輩方や新人技師と話すことができました。私には職場に同じ臨床検査技師の同期がいなかったため、今回の研修会に一人で参加すること自体不安でした。しかし、私と同じ新人技師と話ことができ少しでも仲良くできたため参加して良かったと思えます。また私が働いている職場の先輩と同期の方にも声をかけていただき、このような場で多くの技師と交流を深めることができるのだと思えました。普段、病院で働いて他の技師と話す機会がないため、このような機会ができて良かったです。今回の研修会みたいに技師の人たちと会う機会があればこれからも積極的に参加していきたいと思えます。

私の今後の目標は、当直業務を習得し、一人で遂行していくことです。これから当直業務に入り、一人で対応することになるため、現在も不安があります。自分で調べ、それでも分からないときは先輩に聞いて分からないことを減らしていき、皆から頼られるようこれからも成長し続けていきたいです。

最後になりましたが、今回の研修会を企画・運営してくださり、心よりお礼申し上げます。講師の方々も貴重なお話をありがとうございました。この経験を日々の業務に活かし、精進していきます。

庄山 日菜 技師（福岡青洲会病院）

福臨技福岡地区新入会員研修会にて、「七転び八起き～失敗は成功の種～」というテーマで、さまざまな場所で活躍されている臨床検査技師の先輩方に講話をしていただきました。臨床検査

技師として働き始めてまだ一年目の私にとって、今回の講話は、日々の業務への向き合い方を改めて見直すきっかけとなりました。

講話の中で特に印象に残ったのは、登壇された先輩方が口を揃えて「新人の頃はたくさんのミスをしてきた」と話されていたことです。現在第一線で活躍されている先輩方も、最初から何でも完璧にこなしてきたわけではないという事実、正直驚きと同時に大きな安心感を覚えました。

私自身、入職して半年が過ぎ、これまで多くのミスを経験してきました。先輩方が当たり前のように行っている業務が自分にはうまくできず、落ち込む日々が続くことも少なくありません。「なぜ自分はできないのだろう」と自信を失い、インシデントレポートを書くたびに申し訳なさや悔しさを感じていました。しかし、先輩方も同じような経験を重ね、その一つ一つから学んできて今の姿があるのだと知り、失敗を必要以上に恐れる必要はないのだと感じました。

講話の中では、ミスをした際の向き合い方についても語られていました。ミスが起きたときに重要なのは、なぜそのミスが起きたのかを冷静に分析し、次に同じことを繰り返さないための対策を考えることだというお話は、強く心に残っています。失敗をなかったことにするのではなく、学びとして積み重ねていくことで、少しずつではありますが、確実に成長できるのだと感じました。

また、ミスをした際には速やかに上司へ報告し、周囲と情報を共有することの大切さも改めて学びました。自分のミスは決して自分だけの問題ではなく、同じ職場で働く技師や、何より患者さんの安全に関わるものです。自分の経験を共有し、業務手順や確認方法を見直すことで、より安全で質の高い医療につながるのだと思いました。

さらに、思い込みで行動しないことの重要性についての話も印象的でした。私自身、入職から間もない頃、心電図検査で電極の装着ミスをした経験があります。その原因の一つは、「正しく装着できているだろう」という思い込みから、ダブルチェックを忘れてしまったことでした。この経験から、業務上のルールや確認作業は、過去の失敗を繰り返さないために作られているのだと実感しました。今回の講話を通して、自身の経験の意味を改めて振り返ることができました。

今回の研修を通して、失敗は決して無駄なものではなく、自身の成長に欠かせない過程であることを学びました。これからも失敗することはあると思いますが、一つ一つの経験と真摯に向き合い、次に生かしていきたいと考えています。患者さんに安心して検査を受けていただける臨床検査技師を目指し、日々の業務に誠実に取り組んでいきたいです。



(3名の講師の先生との集合写真：左から畑田技師、松永技師、越名技師)

3. 福岡市公衆衛生功労者表彰（市長表彰）

開催日時：2025年12月5日（金）13：30 開会

場 所：福岡市役所 15階 講堂

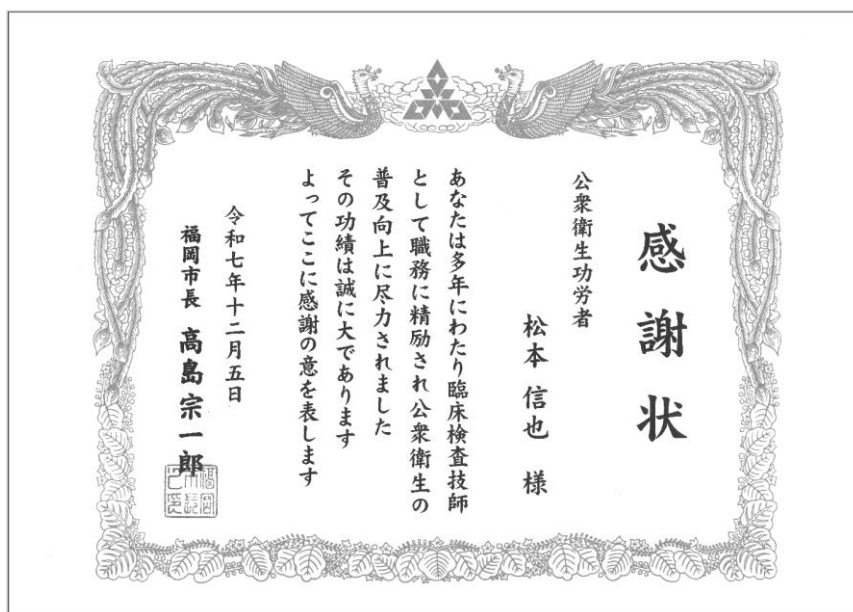
内 容：福岡市長感謝状贈呈

表彰者：植村 彰 技師（福岡青洲会病院）

松崎 友絵 技師（福岡大学病院）

松本 信也 技師（九州大学病院）

本表彰の選定基準は福岡市に居住している若しくは福岡市に就業しており、公衆衛生関連団体の結成および指導育成に顕著な実績をあげた方々へ贈られます。本年度は福岡地区より功績のあった3名の検査技師の皆様を推薦させていただきました。



（松本技師に贈られた感謝状）

4. 2025年度福岡地区講演会および意見交換会

開催日時：2026年1月31日（土）14：30～17：00

場 所：九州医療センター（外来棟 4F 研修室）Web 開催によるハイブリッド開催

内 容：1) 講演会 15：00～16：00

【テーマ】学んでみよう！経験年数によって求められるマネジメントのいろは

【講 師】富田 文子 先生（熊本保健科学大学 医学検査学科 教授

前済生会熊本病院 中央検査部 技師長）

2) 意見交換会 16：00～17：00

富田 文子 先生（熊本保健科学大学 教授：前済生会熊本病院 技師長）をお招きしマネジメントについてご講演いただきました。マネジメントと聞きますとある一定の年齢に達した人に限定されるイメージがあると思いますが、今回は比較的若い人から今から管理職または既に管理職をされている方まで幅広い年齢層で役立つ内容にさせていただき多くの方にマネー

メントについて学んでいただける内容にしました。技師 61 名（Web 参加含）、賛助会 43 名と多くの方々にご参加していただきました。富田先生の講演会によりマネジメントに関するスキル向上がなされ意見交換を通して検査技師と賛助会の皆さまとの距離も近付き一定の成果が得られたと考えます。



（富田先生の講演風景）



（富田先生と参加者との集合写真）

発行責任者：福岡県臨床衛生検査技師会福岡地区/地区長 稲子 勝秀